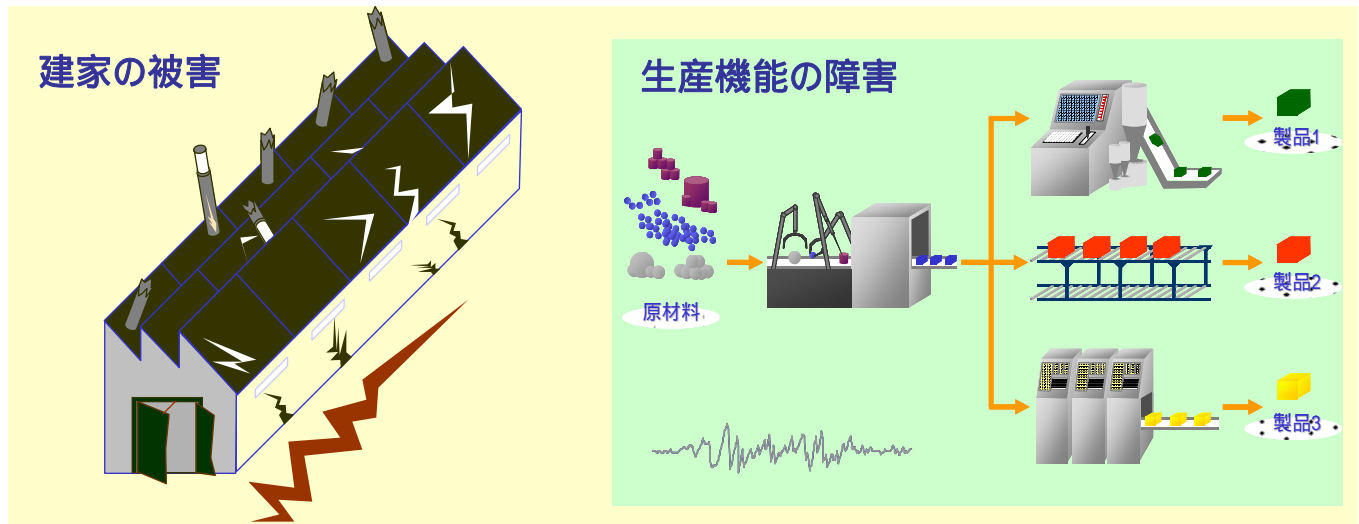


Seismic - Business Continuity Management

事業継続マネジメント S-BCM

篠塚研究所は、生産量の低下やサービスの停止期間を定量的に捉え、事前・事後を含め、費用対効果の優れた対策を立案します。



地震災害時のBCMとは？

顧客や取引先に対し製品や情報、サービスを安定的に提供することは、企業に課せられた一つの使命です。ところが、大地震は事業の継続を困難にし、取引先や顧客、さらには投資家への信頼も失います。地震災害BCMは、発災時においても事業継続あるいは早期再開を実現するための備えを提供する、評価モデルならびに考え方です。

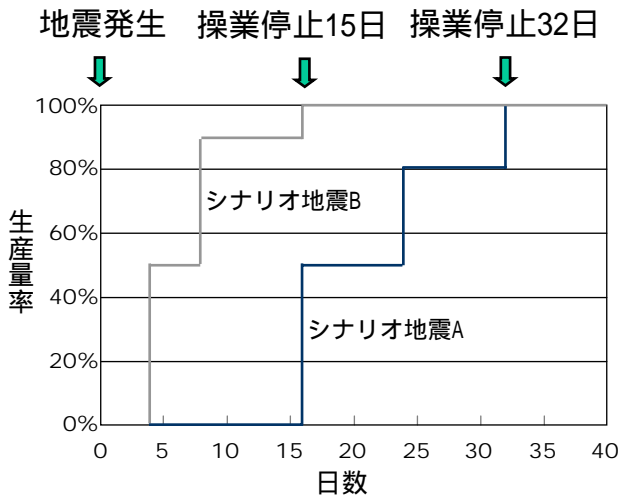
S-BCMの特徴

- ・地震に伴って生じる様々な物理的被害を確率・統計的なアプローチによって評価します。
- ・ライフラインやサプライチェーンなど、外生的な要因による操業停止も考慮します。
- ・生産量やサービスの再開プロセスを、リカバリー曲線を使い、わかりやすく示します。
- ・企業へのインパクトを金銭価値で示します。
- ・取引先や顧客、投資家への説明資料を作成します。

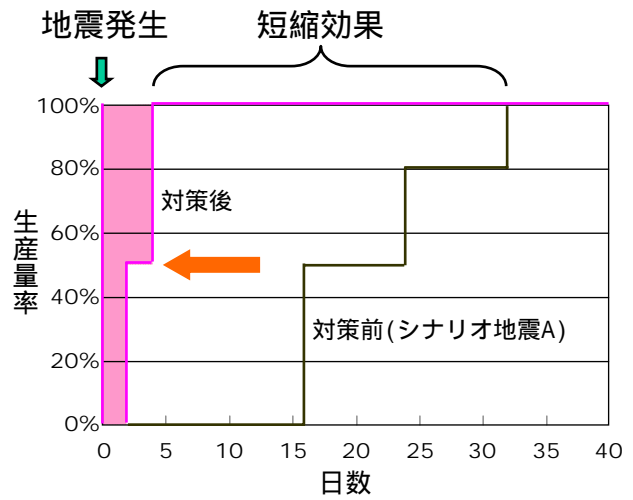
S-BCMの利用方法

- ・生産プロセスにおける脆弱な設備を把握することができます。
- ・補強などの物理的対策の効果やバックアップ機能の有効性を把握できます。
- ・マニュアル整備を含めた総合的な対策を提案します。

Recovery Curve (R.C.)による操業再開プロセス

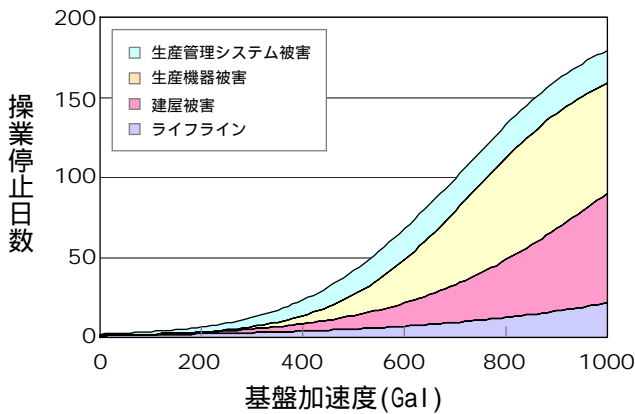


地震別R.C.

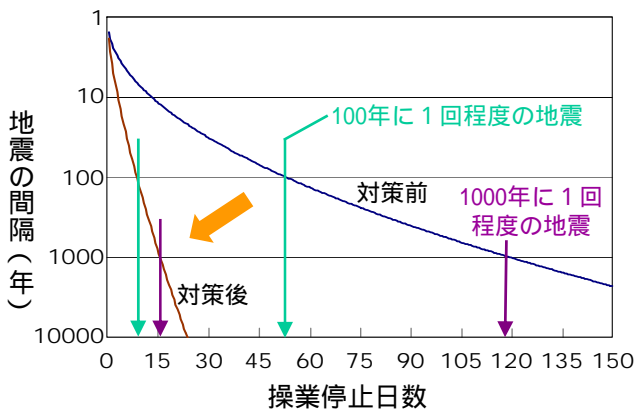


対策効果のR.C.

操業停止に与える被害要因の分析



操業停止期間と地震の発生間隔を比較



S-BCM

施設の特徴

- ・配置構成、管理システム
- ・生産工程、生産能力
- ・耐震性能、老朽化
- ・シャットダウンシステム
- ・防災設備（消火能力など）

外生的特性

- ・地震危険度、地盤状況
- ・ライフラインの脆弱性
- ・バックアップの状況
- ・サプライチェーンの影響
- ・取引先、顧客への影響

操業停止期間の評価

経営判断

対策の立案と効果



問い合わせ：株式会社 篠塚研究所
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-1
 TEL.03-5351-3781
 E-mail sri@shinozukaken.co.jp
<http://www.shinozukaken.co.jp>